高齢者叙勲受章

宮崎惇さん

宮崎惇さん

3月1日、宮崎惇さん（米野）が教育功労で高齢者叙勲（瑞宝双光章）を受章されました。

宮崎さんは、昭和22年に教職に就いて以来、児童・生徒一人ひとりの良き変容を見とどけ、その特性を十分に発揮させる教育に取り組み、また、余暇には地域に根差した自然教育の普及に努め、新聞や専門雑誌に多岐にわたり研究論文を発表するなど、理科教育の推進に尽力されました。

昭和62年に退職された後は、中央公民館長や羽島郡学校教育会会長などを歴任され、トンボ天国の整備や「ふるさと笠松自然散歩」を発行するなど、町の文化振興に多大な貢献をされました。

法務大臣から委嘱 人権擁護委員

保母勝壽さん

4月1日、保母勝壽さん（弥生町）が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、基本的人権に関する心配ごとや悩みごとを親身になって相談に応じ、その解決に努めています。

秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

相談は、福祉会館で毎月第2金曜日に行っています。

詳しくは、31ページをご覧ください。

「わがまちを災害から守る」使命を胸に

辞令交付を受ける新入団員

町消防団入団式

4月18日、町消防団入団式がコミュニティ消防センターで行われ、消防団員や関係者約100人が出席しました。

式では広江町長から「団員一丸となって町民の生命と財産を守ってほしい」と式辞があり、川出団長からは入団された男性消防団員11人、女性消防団員3人、新役員に辞令が交付され、日ごろの消防活動に対する労をねぎらうとともに「いざという時のために訓練などに頑張ってほしい」との訓示がありました。

続いて、来賓の田中県議会議員、船橋町議会議長、奥田町内会連合会長から祝辞があり、団員は防火、防災の誓いを新たにしました。

また、式終了後には今年8月に開催される、第64回岐阜県消防操法大会出場選手の結団式が開催され、選手は大会へ向けての誓いを発表しました。